



小児科外来 看護師
後藤 千紗

ロタウイルスワクチンが定期接種になりました

寒さもいよいよ厳しくなる季節となり、子どもたちは、様々な感染症にかかるリスクが高まります。感染症から守ってくれるものの一つが予防接種です。予防接種とは、病気に対する免疫をつけたり、免疫を強くするためにワクチンを接種することをいいます。今回は定期接種になったロタウイルスワクチンについてお話したいと思います。

ロタウイルスについて

* ロタウイルスの特徴

- ・5歳までに、ほとんどの子どもがかかる、ウイルス性の感染症です。
- ・冬から春先にかけて流行します。
- ・ノロウイルスなど、胃腸炎の原因となるウイルスはいろいろありますが、ロタウイルスは、主に乳幼児で重症な症状を引き起こす原因となります。
- ・非常に感染力の強いウイルスです。
- ・繰り返し感染します。



* ロタウイルス胃腸炎の症状・合併症

主症状:嘔吐・下痢・発熱

- ・激しい嘔吐や下痢を繰り返し、発熱を伴うことも多く、1週間程度続く傾向があります。
- ・下痢は、白い米のとぎ汁のような便がみられることもあります。
- ・ウイルスに感染後、症状が出るまでの期間は2～3日です。
- ・激しい嘔吐と下痢により、脱水症状を引き起こすこともあります。ウイルスに直接作用する薬がないため、水分の補給を行う必要があります。脱水症状が進むと、入院し点滴治療が必要となることもあります。
- ・日本では、ロタウイルス胃腸炎で亡くなることはまれですが、けいれんを起こす場合や、重症化により入院する場合も多くあります。また脳炎や脳症を起こし、後遺症を残すこともあります。
- ・ウイルスの排出を妨げないよう、下痢止めは使いません。
- ・発熱は、ノロウイルス胃腸炎と比べて高い確率で起こるといわれています。

ロタウイルスワクチンについて

* ロタウイルスワクチンの目的

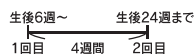
- ・ロタウイルス胃腸炎の重症化を予防することを目的とした、経口接種する生ワクチンです。

* ロタウイルスワクチンの種類

- ・2回接種と3回接種の2種類あります。
- ・初感染(1回目の感染)が重症化しやすいので、早めに予防接種をうけることをおすすめしています。
- ・1回目の接種は生後14週6日までに行うことが推奨されています。

【2回接種ワクチン】

接種期間:生後6～24週
・2回目の接種は1回目から4週間あけてください。
生後24週過ぎると接種できません。



【3回接種ワクチン】

接種期間:生後6～32週
・2回目、3回目の接種はそれぞれ4週間あけてください。生後32週過ぎると接種できません。



※生後2ヶ月を過ぎてから他の予防接種と一緒に開始することが一般的です。

* ロタウイルスワクチン接種後の注意

- ・ロタウイルス内用液を接種した後、ワクチン由来のウイルスが赤ちゃんの便に排出されるため、家族や周りの方に感染するおそれがあります。おむつを交換した後は手洗いをするなど注意してください。
- ・接種当日の入浴は差し支えありません。



副反応への注意

- ・アレルギー症状が起こることもありますので、接種後少なくとも30分間は様子を確認されてください。何かあったらすぐに声掛け出来るよう、待合室で待機されてください。
- ・接種後に、体調の変化や異常な症状があった場合、速やかに医師の診察を受けてください。
- ・接種後に、下痢、嘔吐、胃腸炎、発熱などの副反応がみられることがあります。
- ・国内臨床試験で接種後14日間に報告された主な副反応は、下痢、嘔吐、胃腸炎、発熱でした。また、非常に低い確率ですが、「腸重積症」の発症も報告されています。

* 腸重積症とは？

- ・腸の一部が、腸のほかの部分に入り込み、腸が閉塞した状態。
- ・ロタウイルスワクチン接種の有無にかかわらず、主に0歳のお子さんにかかることがある病気です(日本では0歳児で年間約1000人が発症)。
- ・腸重積症になった場合、通常は肛門から液体や空気を入れて、入り込んだ腸を元に戻す治療をします。発症から時間が経過する(12時間を超える)ほど、閉塞した部分の腸が壊死して、外科手術になる割合が高まるため、疑わしい症状がみられた場合は、速やかに医師の診察を受けてください。

* 腸重積症の主な症状

- 嘔吐を繰り返す
- ぐったりして、元気がない
- 泣いたり不機嫌になったりを繰り返す
- 血便(粘液と血が混じったような便)が出る



- ・体調の変化や腸重積症が疑われる症状で、他の医療機関を受診される場合は、母子手帳をお持ちいただくとともに、ロタウイルスワクチンの予防接種を受けたことをお伝えください。

お子様がすべての予防接種をスムーズに接種できるよう、産後すぐに予防接種スケジュールを組みましょう。
接種対象期間内に接種完了できるよう、早めにかかりつけ医にご相談ください。